

県産キノコ料理コンテスト

浅井さん^(城南高3)のマフィン最優秀



キノコ料理コンテストのグランプリに選ばれた浅井友花里さん(前列の左から3人目)ら入賞者＝岐阜市細畑、城南高校

県産キノコを使った料理のアイデアを競う「第9回日本でいちばん楽しいキノコ料理コンテスト『やまっこ杯』」の最終選考会が23日、岐阜市細畑の城南高校であり、同校3年浅井友花里さん(18)のマフィンがグランプリのやまっこ賞に輝いた。(井上愛)

県内の菌床シタケ生産者でつくる飛騨美濃やまっこ協議会が主催。県内の高校生、専門学校生を中心に203人からレシビの応募があり、同日は書類審

査を通過した10人が出場。さまざまなキノコを使って趣向を凝らした料理を作り、同会の役員ら7人が審査した。



グランプリに選ばれたマフィン「味噌(みそ)こけー木の子」

グランプリのマフィンは、生地にキノコと味噌を練り込んだ「味噌こけー木の子」。キノコの風味や食感が生かされていると、高く評価された。表彰式では、浅井さんが奥畑孝司会長から賞状を受け取った。グランプリと準グランプリの2人は、来年3月に東京都で開催される全国大会に出場する。やまっこ杯で上位に選ばれた料理のレシ

ビは、J A全農岐阜のホームページで紹介される。このほかの入賞者は次の皆さん。

- ▽県知事賞(準グランプリ)「きのこバーガー」上砂田志織(岐阜調理専門学校)▽ユーモア賞 葛西凌(同)▽特濃きのこ賞 一柳光希(岐阜城北高校)
- ▽やまっこ奨励賞 高木竜汰(揖斐高校)山田真琴(岐阜女子高校)鎌田壮真(城南高校)高山夏実(関有知高校)中岡優華(東濃実業高校)各務弘二(瑞浪高校)